

ネイティブポーキン・トレハラーゼ

Cat. No. NATE-0717

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 トレハラーゼは、小腸のブラシボーダーに位置するグリコシド加水分解酵素で、トレハロースをグルコースに交換する反応を触媒します。これはほとんどの動物に見られます。非還元二糖であるトレハロース (α -D-グルコピラノシル-1,1- α -D-グルコピラノシド) は、ほぼすべての生物形態に存在する最も重要な貯蔵炭水化物の一つです。二糖は、トレハラーゼ酵素によって2つのグルコース分子に加水分解されます。サッカロマイセス・セレビシエ (*Saccharomyces cerevisiae*) には、pH最適値に基づいて分類される中性トレハラーゼ (NT) と酸性トレハラーゼ (AT) の2種類のトレハラーゼが存在します。NTの最適pHは7.0であり、ATの最適pHは4.5です。最近の報告によれば、*S. cerevisiae*における総AT活性の90%以上は細胞外に存在し、細胞外のトレハロースをペリプラズミックスペースでグルコースに切断します。

用途 トレハラーゼは、*Plasmopara viticola*に感染したブドウの葉における炭水化物代謝の阻害を評価する研究に使用されました。トレハラーゼはまた、トレハロース-6-リン酸による成長停止を調節する研究にも使用されました。

別名 α , α -トレハロースグルコヒドロラーゼ; トレハラーゼ; EC 3.2.1.28; 9025-52-9; α , α -トレハラーゼ

製品情報

種	豚の
由来	豚の腎臓
形態	緩衝された水性グリセロール溶液; 1% Triton™ X-100と25 mMリン酸カリウムを含む50%グリセロールの溶液、pH 6.5
EC番号	EC 3.2.1.28
CAS登録番号	9025-52-9
活性	> 1.0 ユニット/mg タンパク質
濃度	0.5-10.0 mg/mL タンパク質基準 (BCA)
単位定義	1ユニットは、pH 5.7、37°Cで1.0 μ moleのトレハロースを1分あたり2.0 μ moleのグルコースに交換します (遊離グルコースはpH 7.5で測定されます)。

保管・発送情報

保存方法 -20°C